斉藤 和巳（さいとう かずみ、1977年11月30日 - ）は、日本の元プロ野球選手（投手）、コーチ、現野球解説者。京都府京都市南区出身。

概要

プロ野球選手時代は福岡ダイエーホークス→福岡ソフトバンクホークスに所属していた。1996年から1999年までの登録名は「カズミ」。2006年に日本プロ野球史上7人目の投手五冠王[1]に輝く。沢村賞を同年と2003年に受賞。パシフィック・リーグ史上初の同賞複数回受賞者[2][3]。右肩腱板（けんばん）損傷により2007年を最後に一軍登板がなく、2011年からは支配下選手登録を外れ同球団のリハビリ担当コーチを務めながら現役復帰を目指すも、2013年7月に復帰を断念することを表明。同月31日付で退団した[4][5][6]。2014年からは福岡を拠点にTVQ九州放送の野球解説者と西日本スポーツの専属評論家として活動。

プロ入り前

1977年に京都府京都市で誕生。小学1年生時に祥豊ファイターズに入団し、4年生時には捕手として試合に出場。中学校に入学するとボーイズリーグの京都スターズに入団。強肩捕手として活躍し、後半になると投手としても注目を集めるようになった[7]。1995年に南京都高等学校からドラフト1位指名で福岡ダイエーホークスに入団。チームに斉藤姓の投手が3人になることから（斉藤学、斉藤貢）、「カズミ」が登録名となった（同時に斉藤貢も登録名を「ミツグ」に改めている）。後に２０１８年４月２２日「Ａｍｅｂａ　ＴＶ」における「東京六大学野球」の解説にて「ドラフトで指名が無ければ高校で野球を辞めていた」旨をカミングアウト。進路について、野球を辞める方向で話してたところ「プロのスカウトから会いたい」と言われ斉藤自身は「人違い？」にしか思っていなかったと言う。